

新編 大蔵経

だいぞうきょう

成立と変遷

京都仏教各宗学校連合会「編」

A5判・並製・三〇九頁・本体一、八〇〇円＋税



インドから日本に伝えられた、仏教典籍の悠久の歴史を一冊に。京都大蔵会第一〇〇回を迎え、旧著『大蔵経——成立と変遷』（小川貫式他著）を五〇年ぶりに一新。総勢一五名の専門家による、歴史学・書誌学の最新研究を盛り込んだ待望の概説書。

【目次】

- 序 文
- I インド・アジア諸地域
- 第1章 インド仏教時代の三蔵とパーリ語三蔵
- 一 初期文献の編纂作業——結集伝説
- 二 刊本としての集成
- 第2章 大乘経典
- 一 大乘仏教と大乘経典
- 二 インドの文字と經典書写
- 三 大乘経典写本の種々相
- 第3章 チベット大蔵経
- 一 チベット仏教の歴史と諸宗派
- 二 カンギユル（仏説部）とテンギユル（論疏部）
- 三 カンギユル・テンギユルの内容構成
- 四 敦煌文献中のチベット語訳経論典
- II 中国
- 第1章 写本の時代
- 一 仏教伝来——中国へ
- 二 漢訳経典の誕生から一切経へ
- 三 写本的一切経——一切経から大蔵経へ
- 第2章 經典目録の編纂と漢訳大蔵経
- 一 漢訳大蔵経の成立——後漢〜東晋・南北朝時代
- 二 漢訳入蔵録の成立——隋時代
- 三 漢訳仏典目録と大蔵経の確立——唐時代前期
- 四 経録の統修と欽定化
- 五 漢訳経典の公開と保存——石刻經典の発生と展開
- 第3章 版本大蔵経
- 一 開宝蔵（蜀版大蔵経）の刊行
- 二 金版大蔵経
- 三 契丹大蔵経
- 四 福州版（東禪寺蔵・開元寺蔵）の刊行
- 五 浙西版（思溪蔵・磧砂蔵・普寧寺蔵）の刊行
- 六 元の官版大蔵経
- 七 大明南蔵と大明北蔵の刊行
- 八 明末の嘉興蔵と清の龍蔵の刊行
- 九 清末・民国初期刊行の大蔵経
- III 朝鮮
- 第1章 高麗版大蔵経
- 一 高麗初雕版大蔵経
- 二 高麗再雕版大蔵経
- IV 日本
- 第1章 日本古代の一切経
- 一 仏典の将来と書写
- 二 奈良時代の一切経
- 三 平安時代の一切経
- 第2章 日本中世の一切経
- 一 鎌倉期の一切経
- 二 南北朝・室町期の一切経
- 第3章 日本近世の一切経
- 一 近世の大蔵経
- 二 宗存版一切経
- 三 天海版一切経
- 四 鉄眼版大蔵経
- 第4章 日本近代の大蔵経出版
- 一 金属活字版大蔵経
- 二 日本撰述・宗門系全書
- 三 データ・ベース
- 執筆担当者一覧
あとがき

【執筆担当者】
南 清隆、松田和信、小野田俊蔵、赤尾栄慶、大内文雄、野沢佳美、梶浦 晋、馬場久幸、宮崎健司、川端泰幸、松永知海、小山正文、水上文義、中尾良信、吉田淑禮

注文書	
(書店名)	様 冊
ご担当	法蔵館
京都仏教各宗学校連合会 編	一、八〇〇円＋税
新編 大蔵経 成立と変遷	ご住所
ISBN978-4-8318-7708-6 C1015	お電話
	お名前

ご注文は FAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏 教